

議会だより

NO.79 2013
7・25

たからほ

〈宮崎県高千穂町議会〉



つめて～!! 気持ちがいいよ。(天岩戸保育園)

職員の給料4.7%減額	6
児童・生徒のことを一番に	4
新校舎が完成	2
一般質問に4人登壇	8～9



これが聞きてえ～

質疑 土木補償費580万円の計上は、国道218号線のトンネル工事によるものか。

答弁 高千穂・日之影道路で、雲海橋から平底間、約5.5kmのトンネル工事である。

総事業費は206億円が予定され、本年度が13億円の工事で土捨増設の補償金計上である。

国道218号線 トンネル 着工へ



平成30年完成予定

起業支援 の 創造事業

質疑 起業支援型地域雇用創造事業の内容と交付団体は。

答弁 起業して10年未満の法人・団体等に対して交付される事業で、おたに家1800万円、もちばる夢工房525万円、がまだせ市場270万円、NPO法人一滴の会600万円で、雇用促進を図る。

町支援 の 地域活動を

質疑 これからの本町農業は、共同化、法人化に向けて町支援の地域活動が必要と考えるが、今後の方向性は。

答弁 農業の活性化が商店街の活性化にもなる。関係機関と協議しながら、今後のもうかる農業づくりに取り組んでいく。



安全運転に心がけます

ふれあい バスの 町民利用を

質疑 ふれあいバス3台を買い替えるが、どの路線で、今後の状況は。

答弁 平成24年度に2台、今回が3台で、日向線、押方線、向山線である。来年度に五ヶ所線を計画している。

町民の皆様の利用増加をお願いする。



こりやせめばい(岳谷橋)

林道橋梁 の 改良工事

質疑 工事請負で、林道点検診断保全事業の場所と事業内容は。

答弁 上岩戸の森林管理道今藤線、岳谷橋で、長さ6.6mの改良工事を1100万円で行う。

開校140周年 新校舎が完成

(高千穂小学校)



木の香りがいいね

県産材使用

明治8年に開校され、今年で140周年を迎え、多くの卒業生を送り出して来ました。

6月11日に竣工式があり、月末に校長(米良照彦)児童346名が、県産材杉の香りがする新校舎に移り、勉強しています。

高度な情報化 教育に対応

先輩方にはなじみの深かった光景は写真で記念に残ります。

木の香りが漂う新校舎は、エアコン完備で、廊下が広く、語らいの広さがあり、図書室の広さにもびっくりです。

コンピューター室を始め各種教室も充実しており、校内でのテレビによる校内放送も可能とのこと。

恵まれた環境の中で勉強できる児童たちに、新しい伝統を創ってほしいと期待します。

第2グラウンド 整備着工 (全面芝生化)

折原の町総合運動公園第2グラウンド造成工事が始まり、全面芝生のグラウンドが完成します。

工事は外溝工事(駐車場舗装、散水施設整備・防球フェンスなどを先に)を行い、天然芝生新設工事に着手します。

工事は年度内完成予定ですが、天然芝の養生期間として、来年度7月まで養生予定で8月からの供用開始を計画しています。

新火葬場着工 ニーズに対応

西臼杵広域行政事務組合

現在の火葬場は昭和49年に鉄筋コンクリート平屋建で、稼働を開始して以来、日常点検や清掃など、施設の運営管理には充分努力を重ねてきましたが、築39年を経過し、施設や設備の劣化・老朽化が進んでいます。

西臼杵広域行政事務組合では、人生終焉の場にあふれあふれ火葬場建設を目標に、個人の尊厳に敬意を払い、会葬者の心情に配慮した施設を計画しています。

現在の火葬場は昭和49年に鉄筋コンクリート平屋建で、稼働を開始して以来、日常点検や清掃など、施設の運営管理には充分努力を重ねてきましたが、築39年を経過し、施設や設備の劣化・老朽化が進んでいます。

西臼杵広域行政事務組合では、人生終焉の場にあふれあふれ火葬場建設を目標に、個人の尊厳に敬意を払い、会葬者の心情に配慮した施設を計画しています。

現在工事は進入道路の整備が終了し、造成工事が行われています。

新火葬場は鉄筋コンクリート2階建てで、新しいニーズに対応できる施設が計画されています。

煙突はなく無煙無臭の設備が導入され、排気対策や建築意匠など周辺環境に充分配慮した計画となっています。

供用開始は来年度4月が予定されています。



工事ははじまったばかり

児童・生徒のことを1番に!

学校調査

文教厚生常任委員会では昨年度から、町内の小中学校の現状を調査しました。

内容は学校の概要・教育目標・各施設の現状です。

校長・先生と意見交換することにより、学校ごとの課題を把握し、将来に向けての学校配置など、教育委員会・行政に要望しました。

岩戸小学校 (平厚子校長)

児童数は136人、教育目標は「自ら考え、正しく判断し、豊かな人間性をもち、たくましく生きる児童の育成」です。

学校の取り組みの主なものは、あいさつ運動・中学校とのふれあい学習・中学校と共通実践で取り組むノーテレビタイム・道徳教育で心の充実を目指しています。

意見交換の主な内容

小中学校統廃合に関する説明会が開催された中で、もし小学校が中学校に移りとなった場合の問題点として、部活や少年

押方小学校 (草薙良雄校長)

児童数48人、教育目標は「21世紀をタフに生き抜く児童の育成」です。

笑顔の中にも秩序のある活動的な学校・学ぶにふさわしい環境の整った学校・尊敬と信頼でつながり毎日が楽しい学校を目指しています。

将来を担う人材を育てるために、自然豊かな環境とベンション風の校舎

を、教育活動に生かして行きます。

意見交換の主な内容

地域の高齢者の方とわらじ・竹とんぼ作りや、敬老会でのプレゼント、運動会に招待するなど交流行事を行っています。

少人数校なので、スポーツ少年団活動は他の学校と合同でチーム編成しており、運動会では地域の方と合同で開催しないと将来的には成り立たない

と考えています。

田原小学校 (竹原哲郎校長)

児童数57人、教育目標は「自ら目標をもち、楽しく意欲的に学ぶ」「豊かな心と感動する心をもつ」「自ら体を鍛え、命を大切にすること」です。

学校経営ビジョンとして、確かな学力の定着・豊かな心の育成・健康な体の育成・学校・家庭・地域との連携・教職員の

資質の向上を掲げています。

意見交換の主な内容

今年から5・6年生の複式学級が始まり、現在児童は戸惑いがあるようですが、先に複式学級に取り組んでいる学校では集中力が向上すると言われています。

児童数の減少から昨年度の体育大会は、田原中学校と合同で開催しました。先生方の居住地は、現在校長と教頭のみが田原に住まわれています。

この地域に住みたいという先生方は多いのですが、住宅がないということで、他の地域に住んでいます。

高千穂中学校 (鹿島庄一郎校長)

生徒数175人、教育目標は「心豊かで知性にあふれ、たくましく伸びる生徒の育成」です。

校内研究として、キャリア教育に取り組んでおり、一番は学力向上で将来の社会人・職業人の基礎をしっかり身に付けるよう中学校で学ぶとともに、あいさつ日本一を目指しています。

意見交換の主な内容

部活動は、野球・サッカー・吹奏楽など10の部があります。

校区外からも活動の場を求めて、高千穂中へ数人の生徒が転入学しており、剣道は、男子団体が県で2年連続3位、また男子バレーボールはJ A杯県大会で3位でした。

授業の教科によっては、クラスを分けて、少人数の指導を行い、特別支援学級では、支援員が付き添っています。

岩戸中学校 (戸敷二郎校長)

生徒数55人、教育目標は「心豊かで、自ら考え、正しく判断し、たくましく生きる生徒の育成」です。

東日本大震災を受けて、誰にとっても安心・安全な学校を一番に掲げています。

一人ひとりが大切にされ、向上心に満ちた学校・社会に貢献できる人材育成を目指しています。

意見交換の主な内容

現代社会は、電子映像メディア漬けで育っている生徒が多いことから、身体や心・コミュニケーション能力の発達に障害をもたらし、今後は適切な関係を児童・生徒や保護者に勉強会の機会を提供していきます。

田原中学校 (大塚逸郎校長)

生徒数36人、教育目標



岩戸中学校

は「高千穂を愛し、かしこく、やさしく、たくましい生徒の育成」です。

全教育活動を通して、キャリア教育の視点にたった指導を行うことで、将来自分の職業に誇りを持ち、社会で生きぬく力を育て、その力を発揮できる人を育てることを目標にしています。

意見交換の主な内容

キャリア教育は、まだまだ研究段階ですが、現

委員会の要望

在、小学校とも連携し、合同で研究会をもつていきます。

また、進路指導に関しては、生徒自身が将来何

バスなどの送迎に取り組むこと。

◎高千穂中学校の校舎と校舎の間をバリアフリーに改修すること。

・校門の出入り口の道路の拡張を行うこと。

・特別校舎の雨漏りを改修し、トイレも増設すること。

・校舎付近の立ち木を整備すること。

◎岩戸中学校の体育館などのとくに草などが生えている。他の学校でも見受けられたので施設管理費を確保すること。

・中学校では、学習姿勢の悪い人が目立ったので、身体成長にあった大きな机に入れ替えること。

・教職員住宅の整備を行うこと。

TPP交渉と人・農地
プラン及び中山間地域等



江藤拓副大臣と総務産業常任委員会

農水省でTPPを研修

直接支払制度について研修しました。
特にTPP交渉について、アメリカ・カナダ・オーストラリアなどの12ヶ国が進められています。中国などに関心を示しているようです。
総務は「悪影響がもつとも小さくなる様に交渉するが大前提である」との考えです。

農林水産省と国土交通省 及び (株)エーピーカンパニー

総務産業常任委員会(4/22~4/24)

調査報告

東京港区にある(株)エーピーカンパニーは、居酒屋店舗97店、ライセン41店を持ち、生産者と消費者を直結させる取り組みを行っています。
現在、宮崎県内の塚田農場、(株)地頭鶏ランド、日南や延岡、島野浦の漁場などから直接取り引きで運営しており、西都市、綾町にも食材加工場を建設中です。

(株)エーピーカンパニー
宮崎産はレベル高い



松下政務官と総務常任委員会

高速・国道の 早期整備を 国交省



こりゃ〜やり手ばい

生産者と提携し、消費者の声を直接生産現場に反映させています。
管理本部
常務取締役・管理本部長
吉野 勝己氏

一般職員の給料4.7% 3500万円

ラスパイレス指数

高千穂町	104.7→100.0
日之影町	101.6→100.0
五ヶ瀬町	106.7→106.7

減客額

条例改正

期間は9カ月

今年1月28日に総務大臣から、地方公務員の給与について国家公務員の減額措置に準じて必要な措置を講じるよう要請がありました。
本町でも減額措置はやむを得ないとの判断に至り、医師を除く一般職員の給料を平成25年7月1日から26年3月31日までの9カ月間、4.7%減額します。
削減額は特別職・一般職合わせて3511万4000円を見込んでいます。

委員会の意見

「民間企業との給与の逆転現象が起これば、役場に人材が集まらないようになるのではないかと」という心配もある。
人事院勧告なしで、今回の給与削減を受けたのは初めてのことであるが、東日本の復興と日本の経済再生のための措置であることを踏まえ、目的以

町長	3万1000円
副町長	2万6000円
教育長	2万5000円
一般職員	1万3900円

月平均の減額



給料が下がって
血圧が上がった

外に国民の血税や、職員の給与減額措置での財源が使われることのないように、国の政策を注視する必要があります。かとの意見でした。
職員、特別職の皆さんの家計や町内への経済効果及び、交付税などのことを総合的に考慮・判断しました。
全員賛成で可決

給水区域と 水道料金を改正

押方布平地区
向山北地区



布平地区送水施設

布平地区簡易水道組合は、平成24年10月、県単補助の管飲雑用水施設整備事業により、大内東地区への配水施設が増設され、給水区域を拡張されました。

布平地区



向山簡水送水ポンプ施設

向山北地区

向山北地区水道組合は、平成24年度の決算状況で、実質赤字となっており、雑入や補助金の臨時収入と繰越金を欠損に充てている状況にあります。
揚水ポンプの電気使用量は、総支出の約40%で水道料金収入に対しての割合は72%になっています。
電気料金の値上げと、年々減少傾向にある現行水道料金収入では、不足が予想されるので同水道組合の料金を改正します。

近年の降雨量の減少により各地で水不足が心配されています。
事業の高額な自己負担と原水のポンプアップなどによる給水システムは、両組合とも同じであり、施設の管理費と水道料金の負担増にもつながります。
将来、組合員の減少や電気料の値上げなどにより、さらに節水の意識が高まり、水道使用料収入の減少で、水道料金はますます上がるのが予想されます。
極力、電力を使わない給水体系とするか、または、いくらかでも電力を生み出す施設を整備されることを要望します。
最後に、大内東地区の給水については布平地区簡易水道組合のご理解とご協力により、今回の事業となったことに敬意を表します。
全員賛成で可決

委員会の意見

調査報告

富山型 デイサービスとは

文教厚生常任委員会

委員会の意見

平成25年4月23日から25日にかけて富山型デイサービスと、子ども手当及びTPP(医療分野)に関して調査・研修を行いました。

富山型デイサービスとは、高齢者・身体障害者・知的障害者・心身障害児・幼児を同じ施設で同時に受け入れるという特徴を持った施設です。

「このゆびとーまれ」は、代表者惣万佳代氏が富山型の形態を最初に立ち上げた施設であり、平成5年に開設し、現在では4施設を運営、職員は52人です。

大家族の雰囲気を感じさせ、利用者がそれぞれの役割を果たすことで、生きがいを作り、障害を持つ人と接することで優しい心も育つ事業です。で、高千穂町も富山型を参考にし、福祉行政に取り組みすることを要望しました。

意見交換

子ども手当及びTPP医療分野の研修については、厚生労働省の担当職



デイサービスこのゆびとーまれ(富山市)



谷川秀憲議員

移住による人口増対策は 町長 充実した情報発信に努める

問 団塊の世代が定年を迎え始めた平成19年頃は、U・J・ター

増対策が積極的に取り組まれていた。

ツアーを実施した。実績は5組13名の参加があったが移住にはつながらなかった。

その後5年が経過したが、事業の実績と今後の取り組みについて問う。

情報発信のため「高千穂で暮らそう」というホームページを作成し、空き家情報などを発信していたが新しい情報収集が困難で内容更新ができず

町長 県の補助事業「二地域居住等促進支援事業」を活用し、本町への移住希望者に対して2泊3日の農村体験

町長 「二地域居住等促進支援事業」を活用し、本町への移住希望者に対して2泊3日の農村体験

町長 県の補助事業「二地域居住等促進支援事業」を活用し、本町への移住希望者に対して2泊3日の農村体験

現在は休止状態である。本年度、ホームページを作り直す予定であり、内容もさらに充実させ、移住希望者への情報発信に努める。



はよ予防せにやほくばい

予防接種を多くの方に受けていただくために摂取費用の半額にあたる4000円の助成をしている。

問 脳ドック検診は、脳血管疾患の原因となる血管の詰まりや脳腫瘍などの早期発見に役立つものであり、受診費に公費助成は図れないか。

町長 脳ドックの検診については、検診体制及び費用効果を考慮すると、脳ドックよりも特定検診の受診率を上げることが基本としていて、二次検査である頭部超音波検査に力を入れていきたい。

町長 公的助成は、国あるいは県の動向を見ながら対応していきたい。



むつかしいのお。えりもの切り体験

風疹予防接種の全額助成は 町長 半額4000円の助成



堀川容佑議員

問 風疹は全国的に流行が拡大しており、本年の風疹罹患患者は1万人を超えている。

町長 本町はワクチン接種に助成策を講じ取り組んでいるが、若い世代の中に

町長 風疹は全国的に流行が拡大しており、本年の風疹罹患患者は1万人を超えている。本町はワクチン接種に助成策を講じ取り組んでいるが、若い世代の中に

町長 風疹は全国的に流行が拡大しており、本年の風疹罹患患者は1万人を超えている。本町はワクチン接種に助成策を講じ取り組んでいるが、若い世代の中に

町長 風疹は全国的に流行が拡大しており、本年の風疹罹患患者は1万人を超えている。本町はワクチン接種に助成策を講じ取り組んでいるが、若い世代の中に

町長 風疹は全国的に流行が拡大しており、本年の風疹罹患患者は1万人を超えている。本町はワクチン接種に助成策を講じ取り組んでいるが、若い世代の中に



がまだせ市場にもあるよ

問

全国各地の神社や仏閣などでは境内でのアイドリングをやめさせている。

町長 自然と神様が主な観光資源となっている本町でも、もっと環境保護がアピールできる公用車の活用を図るべきではないか。また、町内設置の電気

町長 自然と神様が主な観光資源となっている本町でも、もっと環境保護がアピールできる公用車の活用を図るべきではないか。また、町内設置の電気

町長 自然と神様が主な観光資源となっている本町でも、もっと環境保護がアピールできる公用車の活用を図るべきではないか。また、町内設置の電気

町長 自然と神様が主な観光資源となっている本町でも、もっと環境保護がアピールできる公用車の活用を図るべきではないか。また、町内設置の電気

町長 自然と神様が主な観光資源となっている本町でも、もっと環境保護がアピールできる公用車の活用を図るべきではないか。また、町内設置の電気



飯干清喜議員

環境に配慮した公用車の導入を 町長 機会を見て導入を考える

町長 環境に配慮した公用車の導入を、機会を見て導入を考える。

町長 環境に配慮した公用車の導入を、機会を見て導入を考える。

町長 環境に配慮した公用車の導入を、機会を見て導入を考える。

町長 環境に配慮した公用車の導入を、機会を見て導入を考える。

町長 環境に配慮した公用車の導入を、機会を見て導入を考える。

町長 環境に配慮した公用車の導入を、機会を見て導入を考える。

町長 環境に配慮した公用車の導入を、機会を見て導入を考える。

町長 環境に配慮した公用車の導入を、機会を見て導入を考える。

町長 環境に配慮した公用車の導入を、機会を見て導入を考える。

道州制はどう考えるか 町長 反対の立場で行動



熊埜御堂勝彦議員

問 国会に道州制推進基本法案の提出を目指すことにし、全

町長 国会に道州制推進基本法案の提出を目指すことにし、全

町長 国会に道州制推進基本法案の提出を目指すことにし、全

町長 国会に道州制推進基本法案の提出を目指すことにし、全



道州制はどげなるとの？

町長 道州制はどげなるとの？

町長 道州制はどげなるとの？

町長 道州制はどげなるとの？

町長 道州制はどげなるとの？



昭和40年当時の川辺印刷所



現在の (有)川辺印刷



従業員の皆さん
前列左より
二代目忠己さん、初代一男さん、三代目浩平さん

発行責任者	
議長	富 健一郎
議会報編集委員会	
委員長	奈 須 克 喜
副委員長	佐 藤 久 生
委員	富 高 友 子
委員	戸 高 清 次
委員	坂 本 弘 明
委員	馬 原 英 治

米、野菜、花、果実など、どれをとっても自然が相手です。災害なども含め、自然に左右されるのは仕方ないこともありますが、できるだけ影響を受けないよう準備はすることが出来ます。今からますます暑くなりますが、体調を整え、自然に対する準備をしておきましょう。(久・S)

シリーズ 走 舗 ●(有)川辺印刷●

初代川辺一男さんは、不景気の中であらゆる事業を計画し経営されましたが、どれも失敗の連続を通り学校に行っていました。

昭和10年代当時の高千穂峡には観光客は少なく、神橋の付近は林で木材置き場だったそうです。終戦になり、食糧難・

ことや、折しも高度経済成長が追い風となつて、なんとか事業も軌道に乗り、最盛期には従業員も20人まで増員できた頃もありました。

その後、一男さんは経営を二代目の忠己さんに任せられ、高千穂町商工会長として地域経済発展のために、長年の間、尽力されました。

平成13年には(有)川辺印刷として会社組織にされ、現在、役員・従業員合わせて11人の体制となっており、初代の一男

さんは会長に、二代目の忠己さんが社長となり、3年前に東京の就職先を退職し帰省された浩平さんが、三代目として経営の見習い中です。

どうぞ傍聴席へ

次の定例議会は10月7日開会予定です。

傍聴の申し込みは、
お気軽に議会事務局に
お尋ねください。

TEL73-1219

(議会事務局直通)

編集後記

異常気象なのでしうか。田植えの準備時期となつても雨が降らず、各地区水不足で荒代もできないと心配されていました。

夜中に代開けをされた方もいたようですが、ここに来てようやく雨が降り、田植えも無事に終わり一安心です。

農業は本町の大事な基幹産業の一つです。

米、野菜、花、果実など、どれをとっても自然が相手です。災害なども含め、自然に左右されるのは仕方ないこともありますが、できるだけ影響を受けないよう準備はすることが出来ます。

今からますます暑くなりますが、体調を整え、自然に対する準備をしておきましょう。(久・S)